

No. 755

昭和54年

1月1日

# 市報 やまぐち





(3)

室町時代、大内弘世は足利幕府に仕え、将軍の側近として、幕政に参与しましたが、たびたび京都に上り、その都の風物を見て、自分もこのようないみやびやかな町を造りたいと思いました。それで山口盆地が京都に似た地形であるので、ここに町造りを計画しました。

### 弘世の町造り

周防の守護職となり、さらに長門の守護職を兼ねました。

# 大内氏と山口

### 大内氏の始祖

大内氏は、推古天皇の十九年（611）に、百濟の國の琳聖太子が日本に渡って来られたのが始祖であるといわれます。その子孫は多々良氏を称し、周防国大内村に住んでいます。それで地名をとつて大内氏を名になりました。この大内氏がはつきりようになるのは、源平時代からです。そこで地名をとつて大内氏を名づけた。その後だんだん勢力を得て、さらに長門の守護職を兼ねました。

### 大内文化の花開く

も伝わっています。



## 山口のまちの形成の祖 豪華な文化を誇る

**大内氏館跡** 大内弘世が京都に似た町づくりを計画した四方に土井、堀をつくって、居館を定めました。いまの龍福寺境内がそれです。

のもあります。

### 大内氏の滅亡

つて来て住みました。そのため、京都の文化が、山口に移りました。

大内氏はたいへんな努力で町作りをしましたが、一方大陸貿易をして、多くの利益を得、将軍をしのぐ程の財力を有し、武力も他に並ぶものがない程になりました。室町時代の中頃、京都では応仁の乱がおこり、戦火にあふれています。

大内義隆は、累代の余慶によつて、京都の文化が、山口に移りました。これが山口文化の根柢となりました。これが、側近の相良武任ら文治派にとりかこまれ、武事をおこなつていたので、重臣陶晴賢と不仲になり、陶氏を討とうとしました。それで晴賢は先手をうち、義隆を攻めました。義隆は一

大内氏はこの山口で八代二百

年間政治をとりましたが、この

大内文化といわれるものです。

二百年の偉業

も伝わっています。

大内氏はこの山口で八代二百

年間政治をとりましたが、この

大内文化といわれるものです。

二百年の偉業

も伝わっています。

# 大内氏と山口

大内氏は、推古天皇の十九年（611）に、百濟の國の琳聖太子が日本に渡って来られたのが始祖であるといわれます。その子孫は多々良氏を称し、周防国大内村に住んでいます。それで地名をとつて大内氏を名づけた。その後だんだん勢力を得て、さらに長門の守護職を兼ねました。



**大内盛見画像** 五重の塔の建設、大陸との交易をした大内氏中興の祖

山口市が市制施行五十周年を迎える新春にあたり、その山口の今日の礎となり、今から約六百年前、山口を拠点に栄えた大内氏の歴史をふりかえってみましょう。西の京といわれ、豪華な文化を誇ったその面影は、今もなお、随所に残っています。ご家族などで、どうぞおたずねください。

ので、それをさけるため、都の

公卿、学者、僧侶、芸能人など

は、平和で栄えている山口へや

りを計画しました。

町造りは、まず中央に大内氏

の居館を置き、一の坂川を鴨川

にみてて、町を

縦横に区画しまし

た。町の名も大

路、小路と都らし

いものとしまし

た。また京都か

ら、祇園社や北野

天神社などの分霊

を移し、しきりに

京都風の移植に努

めたといいます。

さらに山口の町

のひととに、優

雅な都言葉を教え

ようとして、京都

から子どもを多く

連れてきて、町に

立つて京言葉を教

えさせたという話

も伝わっています。

つて来て住みました。そのため、京都の文化が、山口に移りました。

これが山口文化の根柢となりました。これが、側近の相良武任ら文治派にとりかこまれ、武事をおこなつていたので、重臣陶晴賢と不仲になりました。それで晴賢は先手をうち、義隆を攻めました。義隆は一

づき、その繁榮は京都をしのぐ程となり、「西の都」の名をほこしまにしました。町には大きな寺院が諸方に建立され、莊嚴な神社の造営も多くなされました。これらの社寺は現在に残っているものもあり、華やかであった大内文化をしのぶことができます。しかし亡んでしまった社寺も多く、破れた石垣や、草むす草地などにそぞろ懷古の情をおこさせるもの

程となり、「西の都」の名をほこしまにしました。が、防ぎきれず、大津郡の深川の大寧寺にこもりましたが、とうとう陶軍に攻められ、ついに討死をし、大内氏の正統は絶えました。時に天文二十年（1551）のことでした。

時、法泉寺にのがれて防戦しましたが防ぎきれず、大津郡の深川の大寧寺にこもりましたが、とうとう陶軍に攻められ、ついに討死をし、大内氏の正統は絶えました。時に天文二十年（1551）のことでした。

時、法泉寺にのがれて防戦しましたが防ぎきれず、大津郡の深川の大寧寺にこもりましたが、とうとう陶軍に攻められ、ついに討死をし、大内氏の正統は絶えました。時に天文二十年（1551）のことでした。

八坂神社 上豎小路にある。大内氏が京都から勧請した神社祇園まつりの「鷺の舞」神事は有名。その隣りに並ぶ築山神社は大内氏歴代の靈を祭ったお宮。またこの両社の境内は、大内氏築山館の跡である。

龍福寺 大殿大路にある。大内義隆の菩提寺。本堂は龍福寺本堂を移築した大建築。境内は大内氏館跡。

常楽寺 宮野下にある。大内

時代には妙喜寺という寺であつた。雪舟庭で有名。

興隆寺 大内水上にある。大内氏の氏寺。今は大内義隆奉納の大釣鐘や本尊は残つてゐるが昔の本堂はなくなつた。境内には大内重乗福寺 大内御堀にある。境内に琳聖太子の供養塔・大内重乗福寺 大内弘世の墓がある。

洞春寺 水の上町にある。も

とここに大内氏建立の国清寺があつた。境内の觀音堂は大内時代の唐様手法をもつた古建築。

山口大神宮 滝町にある。大内義が伊勢から勧請した神社

の菩提寺。国宝五重塔は大内氏の文化水準を示す名建築。

瑠璃光寺 木町にある。陶氏の菩提寺。国宝五重塔は大内氏の菩提寺。国宝五重塔は大内氏の文化水準を示す名建築。

高嶺城跡 白石地区の北方に

ある。大内義長が毛利の軍に備えて築いた城。いまは石垣や井戸などが残つてゐる。



# 転出入者 にきく

# 出てきた 山口

これらの新鮮な目でみた山口の印象の中から、これから住みよいまちづくりのため、よいものは大いに助長し、改められるものは改善する、そんなことを考へる、あるいは話し合う材料にしてください。

ましたわたしには、山口市での生活は、人情厚く、空気はおいしく、太陽の光はさんさんとふり注ぎ、また食べ物は新鮮で、まさに優雅そのものであった、の一語に尽きる思いでした。

在任中は、市民のみなさんにお世話になり、大過なく責務を終わったこと、まず、お礼申しあげます。

大都市にずっと住んでいましたわたしには、山口市地にこれを求めるのは、酷くとも思つてみますが、観光都市として栄えるための第一条件とも見られるので

皮することです。県庁所在地にこれを求めるのは、酷くとも思つてみますが、観光都市として栄えるための第一条件とも見られるので

第三に、下水道の完備でとりわけ湯田温泉街に清流をとりもどすべきです。

硫黄臭に顔をそむける人の多いことで大きな減点となつております、螢とびかうまのイメージがこわされて



若者が力がだせる職場を

東京芸大大学院生

山縣敬子(25・東京都)

この国道沿いからは、山の緑は望めなくなつたようですね。

山口のまちに入ると、市民会館前に開場を待つ人が列をなし、美術館も建設中です。よそからすぐ

もう少し活気が欲しい。公害が

では困りますが、若者が力を発揮できる職場がもっとたくさんあ

るとよい。

東京などの大都市の悪いところは真似ないで、住みよい町であつ

きかれる。観光都市でありながら意外に不便な面もあるようです。

また、野田学園構内に雨戸を閉じた能楽堂が遠慮がちにたつてい

ます。然るべき所に移築して本来の働きをさせたいものです。

山口は静かで美しい町です。で

ももう少し活気が欲しい。公害が

では困りますが、若者が力を発

揮できる職場がもっとたくさんあ

るとよい。

がら新年を迎えるのです。

昭和54年1月1日

## 「封建性」の打破こそ・・・



上野春雄  
(53・神戸市)  
国際電々大阪支社

いるのです。

思いつくままに、将来への提言として苦言をのべま

すが、何か影の声がきこえ

てきそうですから、少しばかり、山口のまちに苦言を

呈することにします。

第一に、市民の封建性を

除くことです。わたしの在

山中、「よそ者よばわり」

を受けた苦い経験がありま

す。山口市に大企業の進出

が少ないのは水資源の乏し

さ、消費地の遠隔などなど

あるでしようが、この封建

性こそ、これをばむ理由

の一つではないでしょ

う。

第二に、役人の町より脱

## 割と便利にしてます



主婦  
稻越栄美子(35・宮野)  
(53・神戸市)  
国際電々大阪支社

うな維新公園をみると、この

広さを地区ごとに分けられないもの

のかと考えます。それがかなわ

いままでも公立の幼稚園の庭を午後

二、三時間開放して欲しいもの

です。

人とのかかわりは、主婦が住む

うえで最もたいせつな条件の一つ

ですが、わたしの知る限り、堅実

で人に迷惑をかけないが内向的な

人が多いようで、親しくなるまで

時間がかかります。しかし、いつ

なんうちとけるといへん親切

じゃないですかねえ。

こうした運動も、野菜や米につ

いて、農業や有機質の肥料の使

すぎなどに、チエックが及んでい

くともつと「たくましく」なる

んじゃないですかねえ。



よく学び、遊べる環境

主婦 池田すみ子(39・松戸市)

近所のお寺で除夜の鐘をつき初日を迎えるに鴻の峰に登ったのが、二年前のお正月、今年は松戸で迎えます。

茶の間で話題になる山口は、一の坂川の螢、雪のサビエル塔など美しい自然であり、落ち着いた静かな楚々とした町、それに情にあふれたひとびと、それは懐しく、最後は住みつきたい気持になります。

始めから山口党だったわけ

ではなく、主人の転勤で、各地で前が寂しいこと、家賃が高いこと、駅前が駅前が寂しいこと、商店が早く閉まり、接客態度にサービス精神がみられないこと、小学校の校舎が古く危険を感じること、などは山口の欠点でした。しかし、これを差引いても余りある山口でした。まず子どもにとって小学時代を山口で過せたことは幸せでした。山や川があつて、広い運動場があつて、そして休日には子ども会のソフ

トボールだ、竹馬大会だと親  
と子の歓声がきけ、よく学  
び、よく遊べる環境でした。  
主婦であるわたしにとって  
も、社会への目を開いてくれ  
ました。生活学校や婦人会、  
公民館などの活動が盛んで、  
どうしたら住みよいようにな  
るか、知恵を出し合い、学識経  
験者などの助言をえて、これ  
を市政にぶつけるのです。  
これを行政が耳を傾けてい  
る姿、ここにこれから山口  
の発展をみる思いです。

ひとり身の建設現場住い、活  
便益施設のことには、さ  
て関心がありません。山口  
本州の西南端の日本一小さ  
県庁所在地ですが、東京、小  
阪と陸続きと思うと妙な空  
感があります。

しかし、生産的産業が少な  
何によつて支えられているの  
なあと、少々頭をかしげてみ  
います。何か「沈んでいる」  
の印象を受けることもあり、  
れは、盆地であること、朝霧  
多いことからぼくの錯覚なの  
な?。きけば、公務員と学校  
先生、各種団体に勤める人が  
いまちという。それだけ安定  
なまちということができるよう  
しかし住みよいまちの要素に  
所得源が必要条件に加えると  
ら、「活力」、「発展」という点

らみれば、もの足りなさを感じる。それも多くの市民が、その選択として「それでもいいのだ」と考へてゐるようみえる。ともあれ、広い住宅地、きれいな空気や川、それをとりまく四隅の緑、都会で渴望している環境がここにはあります。それは安定した所得源を持つ人だけが享受しうるものなのです。

岩の多いところ山口、山々の脣に白い岩は美しいと思いますが、朝夕の冷え込みは、少々身にします。



わが青春の地

廣島銀行  
堂本慶彦(24・廣島市)

です。その点から、このまちに住む人がうらやましい。

つても同様です。



特色のあるまちに

主婦

都市が一つというのではなく、  
工業都市、商業都市、文教都

ば、文化的な面でも十分にめぐまれていると思います。



何によつて支えられてゐる?

山口浄水センター工事事務所

学生として過ごした四年間、ぼくにとって山口は「青春の地」です。華やかさはないが、清潔な明るさが感ぜられる山口のまち、夏の螢、秋の夕焼け、四季姿をかえる鳳翩山の優美な姿は忘れられない。大都市ではつい忘れがちな季節の移り変わりを日々教えてくれるまちです。

です。その点から、このまちに住む人がうらやましい。

広島で時折、飲みにいくが、やたらスマートな所が多い。それにくらべ山口は、背広を脱ぎ捨てて、心から落ち着いて飲める所が多かったようだ。

「夜も平和」との印象が強く残っていて、山口のまちにぼくは温かみを感じています。

反面、県庁所在地という観点からすれば、もの足りない。山口県の経済、文化の中心といえども、そのもないし、情報の面からい

つても同様です。

確かに、文化施設や政治機関が多く存在するが、どうも周囲（住民）が消化不良気味のような気がし、また住民自らも、そんな気がいは年々なくしているように思える。

ぼくはまたいつか山口に住むことを夢みている。山口に帰るたびに変化しているように見えるが、眞に山口県の要として発展し、ますます住みよいまちになつてもらいたいと願う気持ちしおです。

五年前に東京から山口に来ました。友達などに、山口は不便でしようとよくいわれますが、私は山口は生活するには良い所だと思っています。東京でも、区以外に出かけなければ用が足りないことが多いですから、市内だけですべての事が出来ないからといって、すぐ不便だという考えは違うと思います。

都市が一つというのではなく、工業都市、商業都市、文教都市という風に、都市により特色がありますが、日本でもこのよな都市形態が今後は考えられべきでしょう。山口の町も県所在地の町として文化面にはいへん特色のある、良い町とあります。県立の図書館や博物館、その他大集会のできる施設もありますので、展覧会、講演会、音楽会などにしても、全般的水準のものが多く開催されやすくなります。自分で参加する意欲があ

ば、文化的な面でも十分にめぐまれていると思います。山には緑が多く、小鳥も多いし、白サギがつい近くで見られるなど、自然がいっぱいの山口には驚きます。

しかし静かな町とすることには、活気が少ないということになりましょうから、若い人の職場が少ない。また女人の人でも、自分の特技を生かして働きたいと考えたりする時、その職場がないということなど、考えなければならないことでしょう。



## ■不燃物の収集日■

## 出張所地区

- 1月 佐山6日、嘉川9日、陶・鉄・銭司11日、名田島・秋穂二島12日、平川16日、大内18日、小鯛19日、吉敷23日、大歳25日、宮野30日
- 2月 嘉川1日、陶・鉄・銭司2日、佐山3日、名田島・秋穂二島5日

山口文化バス

## 太宰府へ

- 日時 1月21日午前7時30分市民会館前出発
- コース 九州歴史資料館→太宰府天満宮(昼食)→觀世音寺→都府楼跡→水城
- 会費 大人4,300円、子ども3,000円
- 人員 120人(定員になり次第締切)
- 講師 郷土史家 内田伸
- 申し込み ハガキもしくは電話で葵2丁目市交通局内、山口文化バスの会事務局電2-2555へ

住宅金融公庫

## 資金融資の申し込み

## ■住宅の新築資金

- 期間 木造で最高25年
- 利率 年5.05%
- 融資額 木造で最高380万円
- 受付け期間 1月中旬受付け開始の予定

## ■住宅の増築・改築資金

- 期間 10年
- 利率 5.55%
- 融資額 最高250万円
- 受付け期間 1月31日まで  
以上の受付けは、最寄りの住宅金融公庫業務取扱店へ

## 月間資料展「和紙」

県立山口図書館

- 日本文化を支えてきた伝統の手すき和紙の関係文献約50冊を展示
- 期間 1月5日から30日まで
  - 場所 県立山口図書館2階

12月31日現在

## 工業統計調査

工業のすがたや活動の実態を明らかにするもの。

調査員がうかがいますのでよろしく御協力のほどお願いします。

室山口分室(山口税務署内)  
二二七七四へ

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

X

1月の休日当番医	外科系				内科系				
	日	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
1	山口病院	山口2-1191 山口5-1100	同仁病院	阿知須4006 小郡2-1003	吉繩牧	山口2-7397 山口2-0149 山口2-0885	豊河病院	藤井病院	二島2002 秋穂2705
2	佐々木外科	山口2-2537	仁和病院	秋穂2330	内科	山口2-0149 山口2-2285	岡村病院	富仁病院	阿知須4006 嘉川2515
3	林外	山口2-0139	武田病院	小郡2-7100	内科	山口2-0149 山口2-2285	岡村病院	川野病院	秋穂2353
7	河脳外科	山口3-1333	第一整形病院	小郡2-0333	内科	山口5-7001	岡村病院	新井病院	阿知須2048
14	木外	山口2-2537	小川整形病院	小郡2-2887	内科	山口2-0206	岡村病院	三河病院	秋穂2503
15	佐	山口7-2800	同仁病院	阿知須4006	内科		岡村病院	佐藤病院	阿知須2126
21	柴吉	山口2-3263	隅田病院	小郡2-1003	内科		岡村病院		
28	永				内科				

■ 診療時間は8時30分から17時30分

■ 歯科は県口腔センター 吉敷下東(3-1820)へ。9時から15時

## 事業用の償却資産

事業用の償却資産は、地方税法の規定により、一月三十一日までに申告することになっています。

事業用償却資産を持つている人は、おとどけしている申告用紙で早目に申告してください。

なお、事業用償却資産は、土地、家屋以外の事業用に使われる

## 一月は申告月です

次のようなものをいいます。

△煙突、塔、看板などの構築物

△製造用、加工用などの機械、ブ

ルドーザーなどの機械装置

△フォークリフトなどの車輌運搬

具△ロッカー、金庫などの工具・

器具・備品△漁船、モーターボートなどの船舶

## 無料

## 法律相談

日時 1月8日午後1時30分から4時まで 受付けは、午後1時から3時まで

場所 市民会館内、中央公民館  
市が毎月1回行うもので、土地売買、相続など、法律上の問題を弁護士さんが相談に応じます。  
なお、次回は3月の予定。

## みどり写真コンクール作品募集

- 題材 植林や手入れ、伐採、キノコなど林業生産の部と森林の景観、動植物、公園など自然と緑化の部
- 規格 写真一枚で白黒、カラーとも六ヶ切
- 応募 1月31日までに、内容説明、撮影者(住所、氏名、年令、職業)撮影場所、年月日、データを作品のうちにはって、瀬戸内市立県政課内県林業協会へ
- 賞 特選2、準特選4、入選10を選び、特選には賞状、賞品、その他は賞品があります

## 国立門司海員学校生徒募集

- 科目 高等科(2年)、司ちゅう科(1年)
- 資格 中学校卒業以上(来年見込みの人も含む)で、来年4月1日現在で満15歳以上19歳未満の人
- 入試日 2月18日筆記試験(国語、英語、数学)と身体検査、面接
- 申し込み 所定の申し込み用紙で1月8日から2月10日までに、北九州門司区白野江門司海員学校へ